

製品名: リン酸化 PKC アルファ (Thr497) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87675

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000,IHC 1:1000-1:10000
分子量	Calculated MW:77 kDa; Observed MW:77 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-PKC alpha
別名	AAG6; PKCA; PRKACA; PKC-alpha
遺伝子 ID	5578, 18750, 24680
SwissProt ID	P17252, P20444, P05696
免疫原	ヒト PKC α の Thr497 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

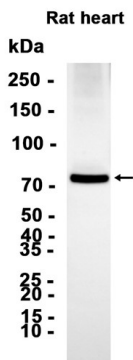
プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムおよびセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールによって活性化される、セ

リンおよびスレオニン特異的なプロテインキナーゼファミリーです。PKCファミリーメンバーは、多様なタンパク質標的をリン酸化することで、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。また、PKCファミリーメンバーは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーはそれぞれ特異的な発現プロファイルを有し、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーメンバーの1つです。このキナーゼは、細胞接着、細胞形質転換、細胞周期チェックポイント、細胞容積制御など、様々な細胞プロセスにおいて役割を果たすことが報告されています。マウスを用いたノックアウト研究では、このキナーゼが心筋細胞における心収縮力およびCa(2+)ハンドリングの基本的な調節因子である可能性が示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



1:10000 の Phospho-PKC alpha (Thr497) ウサギモノクローナル抗体を使用したラット心臓組織抽出物のウエスタンブロット分析。